

疲れたハイカーが
笑顔で出発
できるように



はたけやま かおり

畠山 香 さん

ひらいが海荘 女将

昭和42年、岩手県田野畠村生まれ。
義父母が始めた「民宿ひらいが」を移転、
リフォームし家族で経営している。

6年前(令和元年)の5月、雨が降っていた日。近くのキャンプ場が使えず、泊めて欲しいと来た方がいました。ハイカーとしてはその方が初めてで、みちのく潮風トレイルをその時に知りました。

次はその年の10月、1ヶ月かけて福島から八戸まで歩く外国人ハイカーでした。一人で来た人で、足下を見ると濡れていたんです。心配になったのですが、言葉が通じなかつたため、ジェスチャーでなんとか靴下を脱がせ、洗濯して渡しました。別れ際に「気をつけて」と言いたくても、英語が出てこず、めいっぱいのはがゆさを感じました。その時までは震災復興工事のお客さんを泊めていましたが、工事が終わったタイミングでリフォームし、観光客を受け入れるようになりました。

英語がすごく苦手なので、外国人の対応は無理だと思っていたんです。でも来てしまう。なのでノートに書いてみたり、勉強したりしたのですが、3日たつたら忘れる。結局単語だけを覚えて、メニューの説明はホワイトボードに書くことにしました。まさか英語が全くできない自分が英語を使う時が来るとは思っていませんでした。今は英語での対応は……出来ていないけれど、なんとかやっています。勘違いをすることがあるって、それは当たり前。今では楽しんでいます。

ちっぽけな田舎ですが、ハイカーからは田野畠が一番達成感があると言われます。ハイカーが綺麗な景色や田野畠の良さを広めてくれているのが嬉しいし、ありがとうございます。いつまで営業できるのか分かりませんが、夫婦が元気なうちは頑張ろうと思っています。



並んでいるキャラクター達は漂着した浮玉をペイントしたもの。
我が子のように大切な存在であり、制作は大切な息抜きの1つです。